



ひびきの

学力特集号

北九州市立ひびきの小学校

校長 太田 敦生

【学校教育目標】

思いやりの心を持ち、自ら学び考える、
心身ともに健康な児童の育成

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」として、平成31年4月18日(木)に、6年生を対象とした「教科(国語・算数)に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

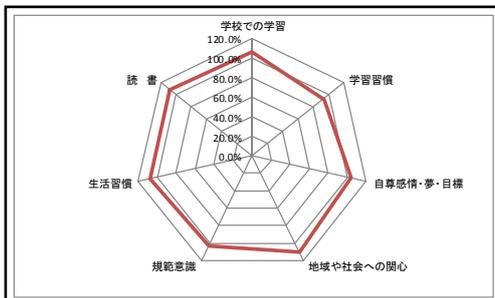
この度、本年度の調査結果を分析し、今後の取組についてまとめましたので、お知らせします。学校の現状を知っていただくとともに、ご家庭での取り組みの参考にしていただきたいと思います。なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面にすぎません。本校では、他の教科等も含め、総合的に学力向上を目指しています。今回の結果を参考に、お子様の学力向上に向け、ご理解ご協力をお願いいたします。



1. 教科に関する調査結果の概要

教科・区分	学力調査の分析(傾向や特徴)	全国平均正答率との比較
国語	<ul style="list-style-type: none"> ○ ほとんどの設問において全国平均正答率を大きく上回っており、全体的によく理解できているといえる。文章問題がよくできており、漢字(一部正答率の低い漢字の書き取り有)等言語事項も習得できている。 ○ 別々の文から考えたことを、さらにまとめて書く問題に課題が見られる。 	上回っている
算数	<ul style="list-style-type: none"> ○ 全体的に概ね理解できている。国語と比較すると全国平均正答率との差が小さく、設問によっては全国平均正答率を下回った問題もあった 	上回っている

2. 学校での学習活動、家庭での生活習慣等に関する質問紙調査結果の概要



質問紙調査の結果分析

- 同じくらいの時刻に寝ており、生活習慣が整っている。
- 読書習慣が身に付いている。
- 話し合いを通して、考えを深めたり広げたりすることができている。
- 地域活動に積極的に参加している。
- ▲ 授業以外の学習時間(家庭学習)が十分でない。

3. 調査結果から明らかになった、課題解決のための重点的な取組

① 教科に関する取組

【学校での取組】

- ・ どの教科も概ねよく理解できており、今後も思考力・判断力・表現力を養う学習を継続的に行っていきます。理解が十分でなかった一部の内容については、卒業までに確実に復習します。

【家庭にお願いしたい取組】

- ・ これからは、暗記して知識を習得することより、考え判断して(書いたり話したりして)表現する力が重視されます。家庭でも、文を書いたり会話をしたりする機会を増やしてください。

② 家庭生活習慣等に関する取組

【学校での取組】

- ・ 自尊心や規範意識など、よい面を一層伸ばす指導を行います。また、地域への関心や読書など、本校の特色といえる内容を、これからも充実させていきます。

【家庭にお願いしたい取組】

- ・ 全国平均と比べ、家庭学習の時間が30分程度下回っています。7月(第4号)の学校だよりでお伝えした家庭学習の目安時間を参考に、家庭学習の充実(質・量・時間)を図っていただきますようお願いいたします。
- ・ 地域行事の参加など、積極的に地域とかわる機会を奨励してください。